

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

3年現代文群読大会評価について

二〇一〇年3年現代文群読大会は、次の方法により評価を行う。

シナリオ点

提出されたシナリオを合計20点満点で評価する。

a 工夫点 群読表現の工夫と群読のシナリオがリンクして考えられているかどうか。

b 表記点 群読のシナリオ表記が正しくおこなわれているかどうか。丁寧に見やすく書いてあるかどうか。

c バランス点 技法の配置、群読の長さ、演者の声を出す回数などのバランスが適切かどうか。

演技点

実際の演技を聞いて次の各項目に関して聴衆が投票する。(1票1点)

a アピールインパクト 群読の演技が、その作品やその意図を適切に表しているものであるかどうか。

b メリハリ 声の出ているところ・出ていないところ、大きな声・小さな声、始まり方・終わり方など、メリハリがきいて整然としているかどうか。

c 調和 全員の声の大きさ、タイミング、バランスが合っていたかどうか。

大会の流れ
2時間を使い、1時間目は「しろい春」、2時間目は「KCMG」をおこなう。
「しろい春」の評価、「KCMG」の評価を合わせて総合優勝、準優勝、脚本(シナリオ)賞、各部門賞を決定する。
各部門優勝チームは、群読を再録する。
演ずる順番はくじとする。

演ずるときの流れ

(レコーダースイッチオン)

「これから3年組 班の「しろい春」(またはKCMG)の群読を発表します。」

「発表者は 番 、番 、番 ……です。」

「この作品のアピールポイントは、 ……です。それでは始めます。」

(群読を演ずる)

「以上で終わりです。ご静聴ありがとうございました。評価をお願いします。」
(聴衆拍手)